

令和6年度

第1回 愛媛県社会教育委員会議 資料

令和6年5月9日(木) 10:30~
県庁第一別館10階 教育委員会

愛媛県教育委員会

議題1 令和6年度生涯学習関係事業について [資料1]

【まなび推進課】

- 「生涯学習推進計画」について
- 生涯学習センター、総合科学博物館、歴史文化博物館、美術館の運営状況について
- 「ふるさと愛媛学」普及推進事業について

議題2 令和6年度社会教育関係事業について [資料2]

【社会教育課】

- 県立図書館の運営状況について
- 「地域ぐるみで育むえひめっ子未来創造事業」について
- 「家庭教育支援リーダー養成事業」について
- 「地域教育プロデューサー配置支援事業」について
- 「愛顔でつなぐ“学校・家庭・地域”の集い」について
- 「社会教育主事講習」について
- 「小・中学生のふるさと学習作品展」事業について
- 「えひめ学校・地域教育サポーター」について
- 「協働で支えるヤングボランティア推進事業」について

議題3 令和6年度青少年教育団体振興事業費補助金について [資料3]

【社会教育課】

議題1

令和6年度生涯学習関係事業について

「愛媛県生涯学習推進計画（第五次）」について

1 第五次計画について

(1) 計画期間

令和3年度から概ね5年間

※ 策定は令和3年3月

(2) 計画の構成

基本目標「誰もが生涯学ぶ、愛顔あふれる“学び舎えひめ”の創造」

└ 施策の方向性

- 自立・自律して学ぶ
- 連携・協働して学ぶ
- 学びの成果をふるさとづくりに

└ 推進施策(21)

└ 推進指標(43)

(3) 推進指標(43)の進捗状況把握（令和6年3月現在）

- 推進施策ごとに設定した推進指標について、その目標の達成に向けて進捗状況を把握。（事業所管課）

現状が前年度数値（計画策定時）を上回っている場合	…	↗	19項目
現状が概ね前年度（計画策定時）どおりの場合	…	→	2項目
現状が前年度数値（計画策定時）を下回っている場合	…	↘	3項目
現状値未把握（R6.3時点）	…	-	12項目

※ 指標42については、R2～R5の間、対象となる大会未実施（コロナ影響）

- 推進指標の進捗（別紙参照）

- ・ 推進指標40は、所管課（保健福祉課）の事業変更により推進指標変更
- ・ 推進指標40の※2の数値は、旧推進指標「災害ボランティア研修会」の令和元～3年度の数値

「愛媛県生涯学習推進計画（第五次）」概要

1. 基本的な考え方

- 【国】第3期教育振興基本計画（H30.6）
第10期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理（R2.9）
障害者の生涯学習の推進方策について（H31.3）
- 【県】愛媛の未来づくりプラン～第3期アクションプログラム～（R2.3改訂）
愛媛県教育振興に関する大綱（H31.3）

第四次計画 H28年度～R2年度

【基本目標】

誰もが主役で輝き続ける
“学び舎えひめ”の創造

- 施策体系を引き継ぐ
・基本目標→施策の方向性→推進施策→推進指標

- 人生100年時代を豊かに生きるために
○社会の変化に対応するために
○「持続可能な開発目標」（SDGs）の理念
○障がい者の生涯学習の推進

県民アンケート調査（R2.9～10）の結果

- 県民のニーズを踏まえて
・多様な学び、少子高齢化、防災 など

第五次計画 R3年度～（概ね5年で計画見直し）

【基本目標】

誰もが生涯学ぶ、愛顔あふれる“学び舎えひめ”の創造

- 「誰もが生涯学ぶ」とは、子どもから高齢者まで障がいのある人を含む誰もが生涯を通じて学ぶことができるように学習機会の充実を図ること
- 「愛顔あふれる」とは、県民の一人一人が、「ふるさと」に愛着を持ち、愛顔で生涯学習を推進すること
- 「“学び舎えひめ”の創造」とは、県民の一人一人が、自立・自律、連携・協働して学ぶとともに、その学びの成果がふるさとづくりにつながっていく姿をスローガンとしてまとめたもの

【3つの施策の方向性】

- ①自立・自律して学ぶ ②連携・協働して学ぶ ③学びの成果をふるさとづくりに

【21の推進施策】（8つの新規）

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| ①人権教育・啓発の推進 | ②環境教育・学習の充実 |
| ③社会的・職業的自立に向けた教育と社会参加の推進 | ④学び続け、学び直すための情報や場の提供 |
| ⑤高齢者がいきいきと暮らせる社会づくり | ⑥質の高い文化・芸術に親しむ機会の充実 |
| ⑦誰もが共に学ぶことができる事業の推進 | ⑧地域における防災力の向上 |

【43の推進指標】（21の新規）

- | | |
|---|-----------------------|
| ①県美術館の年間利用者数、総合科学博物館・歴史文化博物館の入館者数 | ②高校生ヤングボランティアスタッフ登録者数 |
| ③人権問題に関する研修・講座等の受講者数 | ④環境マイスター派遣回数 |
| ⑤5日間の職場体験学習に取り組んだ公立中学校（県立中等教育学校前期課程を含む）の生徒の活動に関する充実度 | ⑤環境教育・学習参加者数 |
| ⑦公立学校において、個別の教育支援計画の作成を必要とする幼児児童生徒のうち、実際に作成されている幼児児童生徒の割合 | ⑩地域学校協働活動取組校数 |
| ⑧ねりんピック参加活動人数 | ⑨県民総合文化祭の参加者数 |
| ⑪「愛顔でつなぐ“学校・家庭・地域”の集い」参加者満足度 | ⑫愛媛ボランティアネットワーク会員登録数 |
| ⑬中学生以上が参加するえひめ未来塾の対象校数 | ⑭NPO法人数（認定NPO法人を含む） |
| ⑮障がい者が参加して共に学ぶことができる生涯学習事業を実施した市町数 | ⑯社会教育士数 |
| ⑯自主防災組織の訓練実施率 | ⑰防災士の数 |
| ⑱災害ボランティア研修会参加者数 | ⑲県障がい者スポーツ大会の参加者数 |
| ⑳障がい者芸術文化祭（アート作品展）への出展数 | |

2. ポイント

(1) 社会の変化や県民のニーズに即した計画

国や県の計画のほか、県民アンケート調査の結果などを基に、社会の持続的発展のための学びの推進や多様な人材の協働、障がい者を含む子どもから高齢者まで生涯を通じた学習機会の充実を図り、県民一人一人がふるさとに愛着を持ち、愛顔で生涯学習の推進することを目指す。

(2) 幅広い推進指標の設定

現計画の推進指標(28)から、防災・減災、住民同士の交流、障がい者の生涯学習推進など、関係部局が連携した、より幅広い分野に関する推進指標(43)へと変更する。

施策の方向性(3)	推進指標(43)	計画決定時 現状値	令和2年度末 現状値	令和3年度末 現状値	令和4年度末 現状値	令和5年度末 現状値	令和6年度末 現状値	令和7年度末 現状値	目標 (令和7年度)	前年度比					改善等	所管課
										→	←	→	←	→		
I 自立・自律して学ぶ																
1 生涯学習に関する意識の向上	① 県民(大人)の生涯学習への参加割合	26.0%	—	—	—	—	—	—	30%	→	→	→	→	→	→	生涯学習課
	② 食後、生涯学習へ参加したいと思う県民(大人)の割合	72.1%	—	—	—	—	—	—	75%	→	→	→	→	→	→	生涯学習課
	③ 県民一人当たりの生涯学習施設数の利用回数(料理、医療、美術教室等)	3.9回	2.8回	2.2回	2.1回	令和5年度 (17.2把握)	—	—	—	4.4回	↘	↘	↘	↘	↘	生涯学習課 生涯学習課
2 生涯学習関連施設の整備と利用促進	④ 県民一人当たりの生涯学習施設数の利用回数(料理、医療、美術教室等)	696千人	322千人	421千人	596千人	705千人	—	—	726千人	↘	↗	↗	↗	↗	↗	生涯学習課
	⑤ 県内公立図書館の県民一人当たりの年間貸出冊数	4.9冊	4.2冊	3.9冊	4.2冊	令和5年度 (16.5把握)	—	—	—	4.7冊	↘	↘	↘	↘	↘	生涯学習課
	⑥ 高校生ヤングボランティアスタッフ参加者数	792人	—	1,334人	1,002人	1,184人	—	—	—	1,245人	→	↗	↗	↗	↗	生涯学習課
4 人材教育・啓蒙の推進	⑦ 人権・国際教育研究会への参加者数	2,255人	1,294人	1,582人	1,181人	1,717人	—	—	—	2,400人	↘	↗	↗	↗	↗	生涯学習課
	⑧ 人材教育に関する研修・講座等の参加者数	6,756人	5,021人	1,561人	1,741人	3,807人	—	—	—	12,000人以上	↘	↗	↗	↗	↗	生涯学習課
5 環境教育・学習の充実	⑨ 環境マスター講座回数	55回	3回	4回	2回	令和5年度 (16.4把握)	—	—	—	環境マスター講座 (16.4把握)	↘	↘	↘	↘	↘	生涯学習課
	⑩ 環境教育・学習参加者数	16,581人	8,616人	7,653人	12,215人	令和5年度 (16.4把握)	—	—	—	環境マスター講座 (16.4把握)	↘	↘	↘	↘	↘	生涯学習課
6 社会的・職業的自立に向けた教育と社会参加の促進	⑪ 5日間の職業体験学習に取り組みが公立中・高校(公立中高等学校等)の生徒(職員)の参加者数	94.7%	93.5%	97.2%	95.5%	95.2%	—	—	—	97.2%	↘	↗	↗	↗	↗	生涯学習課
	⑫ 公立学校において、個別教育支援体制の構築を必要とする生徒児童生徒のうち、実際に受けられている生徒児童生徒の割合	92.6%	97.2%	98.1%	98.3%	99.2%	—	—	—	100%	↗	↗	↗	↗	↗	生涯学習課
7 学び続け、学び直すための環境や場の提供	⑬ 学び直しを希望する県民の参加者数	1,423件	1,370件	1,482件	1,002件	1,643件	—	—	—	1,600件	↘	↗	↗	↗	↗	生涯学習課
8 高齢者がいきいきと暮らせる社会づくり	⑭ 65歳以上が参加する学び直し講座参加者数	8,850人	8,455人	9,219人	8,555人	令和5年度 (16.2把握)	—	—	—	10,000人	↗	↗	↗	↗	↗	生涯学習課
9 質の高い文化・芸術に親しむ機会の充実	⑮ 県民芸術文化会への参加者数	77,942人	34,101人	50,125人	56,738人	60,103人	—	—	—	85,000人	↗	↗	↗	↗	↗	生涯学習課
10 生涯スポーツを通じた県民同士の学び	⑯ 県民スポーツクラブ参加者数	4,995人	5,167人	5,103人	3,962人	4,041人	—	—	—	4,300人	→	→	→	→	→	生涯学習課
II 連携・協働して学ぶ																
11 学校・家庭・地域の連携による教育の推進	⑰ 地域学校協働活動回数	144回	—	174回	180回	193回	—	—	—	188回	↘	↗	↗	↗	↗	生涯学習課
	⑱ 地域学校協働活動や家庭教育支援等に活用した地域住民の人数	292,562人	159,177人	212,547人	193,743人	令和5年度 (16.4把握)	—	—	—	251,100人	↘	↗	↗	↗	↗	生涯学習課
	⑲ 「書讀でつなぐ」学校・家庭・地域」の集いの参加者満足度	83.5%	87.0%	87.0%	89.0%	88.5%	—	—	—	100%	↗	→	↗	↗	↗	生涯学習課
12 ボランティアに対する意識の向上	⑳ 県民のボランティア活動への参加割合	62.6%	—	—	—	—	—	—	66.1%	→	→	→	→	→	→	生涯学習課
	㉑ 県民、ボランティア活動へ参加したいと思う県民の割合	87.1%	—	—	—	—	—	—	75.0%	→	→	→	→	→	→	生涯学習課
13 多様な主体による次世代育成支援事業の充実	㉒ 支援ボランティアネット会員登録数	4,995会員	4,843会員	4,954会員	5,009会員	令和5年度 (16.4把握)	—	—	—	5,100会員	↗	↗	↗	↗	↗	生涯学習課
	㉓ 一体型の放課後児童クラブ及び放課後子供教室の設置数	53施設	—	53施設	52施設	53施設	—	—	—	59施設	→	→	→	→	→	生涯学習課
14 地域や民間等との協働による社会貢献、教育活動の提供	㉔ 学び直し講座、地域教育サテライト施設、市民講座、市民講座	201企業・団体	—	209企業・団体	222企業・団体	229企業・団体	—	—	—	230企業・団体	↗	↗	↗	↗	↗	生涯学習課
	㉕ 学び直し講座、地域教育サテライト施設、市民講座、市民講座	80社	86社	82社	97社	99社	—	—	—	110社	↗	↗	↗	↗	↗	生涯学習課
15 生涯学習情報の提供と学習相談の充実	㉖ 生涯学習情報システムの設置率	2,112件	2,670件	2,671件	2,700件	2,804件	—	—	—	3,000件	↘	→	↗	↗	↗	生涯学習課
	㉗ 生涯学習情報システムの設置率	2,112件	2,670件	2,671件	2,700件	2,804件	—	—	—	3,000件	↘	→	↗	↗	↗	生涯学習課
III 学びの成果をふるさとづくりに																
16 誰もが共に学ぶことができる事業の推進	㉘ 誰もが共に学ぶことができる生涯学習事業を実施した回数	3/20市町	—	4/20市町	4/20市町	令和5年度 (16.5把握)	—	—	—	8/20市町	↗	↗	↗	↗	↗	生涯学習課
	㉙ 県民の地域活動、公民館活動等への参加割合	36.5%	—	—	—	—	—	—	—	50.0%	→	→	→	→	→	生涯学習課
17 社会教育活動に対する意識の向上	㉚ 県民、地域活動、公民館活動等へ参加したいと思う県民の割合	82.0%	—	—	—	—	—	—	70.0%	→	→	→	→	→	→	生涯学習課
	㉛ 学びの成果をふるさとづくりに活用する事例(事業)の件数	3事例(事業)	3事例(事業)	5事例(事業)	6事例(事業)	6事例(事業)	—	—	—	7事例(事業)	→	↗	↗	↗	↗	生涯学習課
18 学習成果が循環する体制の充実	㉜ 生涯学習の成果として発信している事例(事業)の件数	80件	816人	820人	821人	821人	—	—	—	820人	↗	↗	↗	↗	↗	生涯学習課
	㉝ 「ふるさと生涯学習」の成果を生かした学校等への出張授業・協働講座開催回数	11/20市町	10/20市町	10/20市町	9/20市町	8/20市町	—	—	—	14/20市町	↘	→	↗	↗	↗	生涯学習課
19 地域を結び、協働を支える指導者・人材の育成	㉞ 市町における社会教育指導者の配置数	16/20市町	—	17/20市町	18/20市町	18/20市町	—	—	—	20/20市町	→	↗	↗	↗	↗	生涯学習課
	㉟ 社会教育士数	54人	—	70人	85人	108人	—	—	—	120人	→	↗	↗	↗	↗	生涯学習課
	㊱ 地域づくりリーダー数	295人	301人	314人	325人	339人	—	—	—	415人	→	↗	↗	↗	↗	生涯学習課
20 地域における防災力の向上	㊲ 防災士の数	14,625人	16,963人	17,559人	20,018人	令和5年度 (16.4把握)	—	—	—	22,700人	↗	↗	↗	↗	↗	生涯学習課
	㊳ 自主防災組織の訓練実施率	53.9%	55.70%	57.8%	43.3%	令和5年度 (16.5把握)	—	—	—	100.0%	↘	↗	↗	↗	↗	生涯学習課
21 学習成果の発表・体験・交流	㊴ 県民の生涯学習に関する体験型イベント参加者数	13,900人	1680人	2,780人	3,782人	令和5年度 (16.5把握)	—	—	—	25,000人	↘	↗	↗	↗	↗	生涯学習課
	㊵ 県民の生涯学習に関する体験型イベント参加者数	1,835人	—	—	—	—	—	—	—	2,000人	→	→	→	→	→	生涯学習課
22 県民の生涯学習に関する体験型イベント参加者数	㊶ 県民の生涯学習に関する体験型イベント参加者数	274点	397点	357点	348点	358点	—	—	—	360点	↘	↗	↗	↗	↗	生涯学習課
	㊷ 県民の生涯学習に関する体験型イベント参加者数	274点	397点	357点	348点	358点	—	—	—	360点	↘	↗	↗	↗	↗	生涯学習課

※「県民の生涯学習に関する参加状況や中間等に関する推進指標(県民アンケートで調査する推進指標)」①②③④⑤

【指標の進捗】

「前年度もしくは計画策定時を上回った指標」：19項目、「横帯同じ指標」：2項目、「下回った指標」：3項目、現状値未把握(5年度末時点)：12項目、No.42はコロナ禍のため対象大会未実施

※1 推進指標40は、所管課(県生涯学習課)の事業変更により推進指標変更

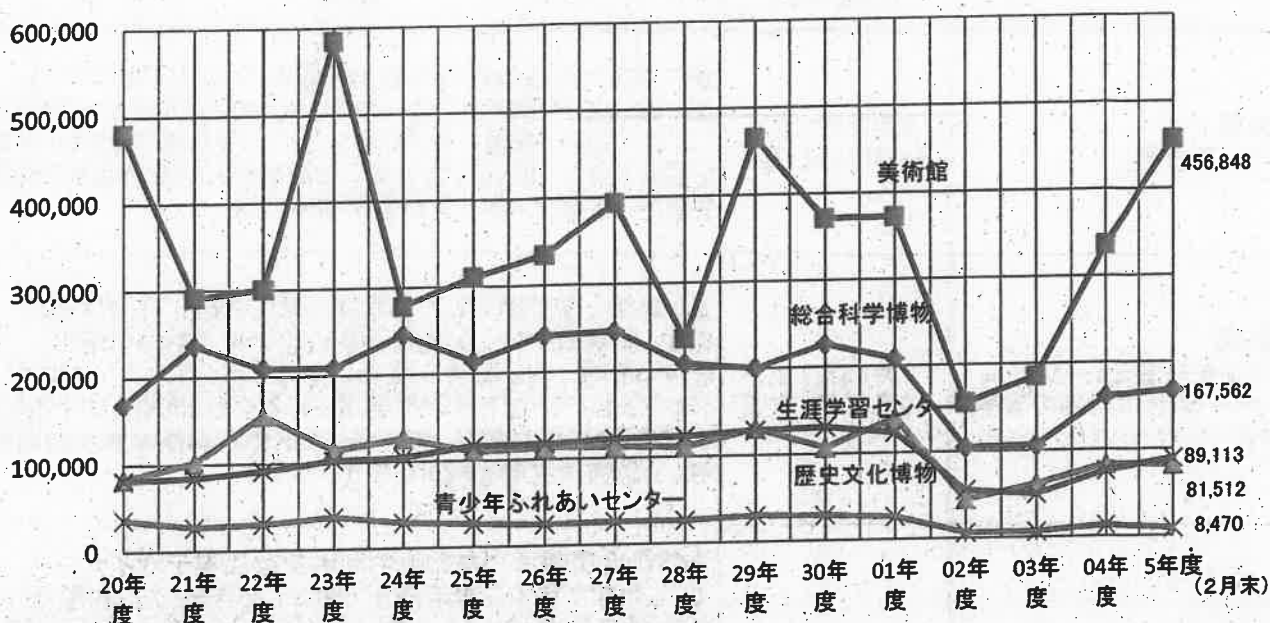
※2 旧推進指標40「実習ボランティア研修会」の令和元～3年度のデータ

No.	推進指標	改善策等
7	人権・同和教育研究大会への参加者数	コロナ禍での参加人数の制限を廃止
8	人権問題に関する研修・講座等の受講者数	新型コロナ感染症が収束し、各研修事業の利用が増えたため。
16	総合型地域スポーツクラブ会員数	えひめ広域スポーツセンターと連携し、クラブの周知等に努める。
34	「ふるさと愛媛学」の成果を生かした学校等への出前授業・出前講座開催市町数	新規の申込みを増やすべく、広報活動を積極的に行う。
35	市町における社会教育主事の配置数	東温市が有資格者の異動により未配置となったため。主事講習受講及び任用について、市町の理解促進に努める。
42	県障がい者のスポーツ大会の参加者数	例年の県大会とは違い、全国大会の選考記録会として実施

まなび推進課所管施設の利用状況(H20～R5)

(人)

利用者推移グラフ



【総合科学博物館】

・コロナ前の5年間(H27年度～R元年度)の利用者数は、20万人～24万人で推移し、この間の平均利用者数は、約21万8千人で、直営時代の約16万9千人から約1.3倍となっている。

・コロナの影響により、R5年度(2月末)は、R元年度(2月末)比で19.7%減、R2年度(2月末)比で60.2%増、R3年度(2月末)比で58.5%増、R4年度(2月末)比で3.8%増。(指定管理者:伊予鉄総合企画㈱)

【歴史文化博物館】

・コロナ前の5年間(H27年度～R元年度)の利用者数は、11万人～13万人で推移し、この間の平均利用者数は、約12万2千人で、直営時代の約8万3千人から約1.4倍となっている。

・コロナの影響により、R5年度(2月末)は、R元年度(2月末)比で41.5%減、R2年度(2月末)比で84.0%増、R3年度(2月末)比で33.8%増、R4年度(2月末)比で1.9%減。(指定管理者:伊予鉄総合企画㈱)

【美術館】

・コロナ前の5年間(H27年度～R元年度)の利用者数は、23万人～46万人で推移し、この間の平均利用者数は、約37万人となっている。

・企画展が好評なため、R5年度(2月末)は、R元年度(2月末)比で22.9%増、R2年度(2月末)比で192.5%増、R3年度(2月末)比で146.8%増、R4年度(2月末)比で36.0%増。

【生涯学習センター】

・コロナ前の5年間(H27年度～R元年度)の利用者数は、12万人～13万人で推移し、この間の平均利用者数は、約12万6千人で、直営時代の約8万1千人から約1.6倍となっている。

・コロナの影響により、R5年度(2月末)は、R元年度(2月末)比で27.6%減、R2年度(2月末)比で61.8%増、R3年度(2月末)比で80.4%増、R4年度(2月末)比で18.0%増。(指定管理者:㈱レスパスコホールソン)

【青少年ふれあいセンター】

・コロナ前の5年間(H27年度～R元年度)の利用者数は、2万6千人～3万人で推移し、この間の平均利用者数は、約2万7千人で、直営時代の約3万6千人から約24%減少。(少子化等の影響)

・コロナの影響と耐震改修工事による休所(9月～3月)により、R5年度(2月末)は、R元年度(2月末)比で67.1%減、R2年度(2月末)比で39.7%増、R3年度(2月末)比で33.8%増、R4年度(2月末)比で33.3%減。(指定管理者:㈱レスパスコホールソン)

令和6年度 総合科学博物館 特別展等の開催について

1 特別展・企画展等

テーマ	開催時期	概要
特別展 「シン・忍者展」	4月20日(土) ～6月23日(日)	謎に満ちた存在の忍者や忍術を最新の史料で明らかにし、また現代の科学的アプローチやSTEAM教育「科学」「技術」「工学」「芸術・教養」「数学」をヒントに、多角的な視点で忍術を紹介します。現代に活かすことのできる忍者の知恵や知識を学び、忍者マスターを目指す展示です。
特別展 「ドキドキ体感ミュージアム スリラー博士の恐怖の実験室2」	7月13日(土) ～9月23日(月祝)	光と映像と音が織りなす不思議で美しく楽しい世界を演出します。実験室では、入場者の影に合わせて映像が様々なに変化する部屋、白い壁から次々と立体が飛び出してくる3Dプロジェクションマッピングの実験室、ぐるぐると回転しているように感じるトンネルなど、ちょっとドキドキ不思議な展示空間で楽しく恐怖の科学を紹介します。
特別展 「未来の原画展」	10月12日(土) ～12月1日(日)	当館の名誉館長である山中俊治氏は工業デザイナーとして、これまで様々な製品をデザインしてきました。本展では、氏が研究の出発点として描いてきたスケッチや、スケッチから形になった模型が一堂に集結します。隠さず美しく見せるものとしての義足や生き物らしい動きを追求したロボットなど、デザインで未来を描き続けてきた作品から、未来に思いを馳せられる展示です。
企画展 「石のワンダー」	12月7日(土) ～2月2日(日)	石は、地球の生い立ちを教えてくれるものであり、多様な性質によって私たちの暮らしを豊かにしてくれるものです。本展では、色や形に特徴のある石を中心に展示し、石のおもしろさを紹介します。また、国内各地の鉱山から収集された鉱石コレクションも展示します。
企画展 「宇宙で食べる・宇宙で生きる」	2月22日(土) ～4月6日(日)	宇宙開発が進むにつれ、多くの一般の人々が宇宙へ旅立つ未来が近づいてきています。そのとき、キーワードになるのは「食」と「健康」です。展示では、実際に宇宙飛行士が食べている宇宙食の実物やその加工技術、開発に携わった企業の熱いエピソードをはじめ、宇宙での食や健康、暮らしに関する研究やその最前線を紹介합니다。

2 その他

(1) 中高生のための第10回はく科学研究プレゼンテーション大会(8月4日(日))

中高生が集まるプレゼンテーション大会を科博で開催し、生徒同士の質疑応答による発表生徒のプレゼンテーションスキルのアップ、サイエンスリテラシーの向上を目指します。科学技術や環境、自然史、生命、産業に関することをテーマとし、ポスター部門とステージ部門の2部門で、各部門とも発表内容等を審査し表彰します。

(2) 教員のための博物館の日(8月22日(木))

学習指導要領に沿った展示室の利用方法や学習用プラネタリウム、授業に役立つ科学実験や学習用貸出キットなどを紹介する教員の皆様を対象とした1日限定の体験講座を開催します。科博ならではの実験道具や実物資料を使ってさまざまなプログラムが体験でき、参加者が提供プログラムを自由に選択できる研修会です。

令和6年度 歴史文化博物館 特別展等の開催について

1 特別展・企画展等

テーマ	開催時期	概要
原田治展 「かわいい」の発見 Osamu Harada: Finding "KAWAII"	4月20日(土) ～6月16日(日)	70年代後半から90年代にかけて、女子中高生を中心に爆発的な人気を博した「OSAMUGOODS (オサムグッズ)」の生みの親、原田治(1946-2016)。簡潔な描線と爽やかな色彩で描かれたキャラクターたちは、日本の“かわいい”文化に多大な影響を与えました。幼少期の資料やデビュー当時の仕事、広告・出版・グッズなど多岐にわたる作品を網羅した、没後初となる全国巡回展です。
サンリオデザイナー展 ～サンリオキャラクター誕生のプロセスを大公開!～	7月20日(土) ～9月23日(月・祝)	サンリオは1960年の創業以来450をこえるキャラクターデザインを生み出してきました。その中にはハローキティのように50年近く活躍しているキャラクターもいます。本展では、はじめて制作サイドに焦点を当て、初期のデザイン原画や制作秘話、グッズなどの資料を展示し、サンリオキャラクターの変遷をたどりながら、長く愛され続けているヒミツを探ります。
開館30周年記念 国絵図の世界 ～甦る正保伊予国絵図～	10月19日(土) ～11月24日(日)	幕府巡見使への対応として提出された寛永国絵図をはじめ、正保、元禄、天保の各時期の国絵図を一堂に展示します。なかでも令和4～5年度の2年間をかけて、住友財団の一部助成を受けて修復を行った正保伊予国絵図(しょうほういよのくにえず)を初公開します。最先端の技術による修復の過程を紹介するとともに、江戸時代前期の伊予の姿を探ります。
宇和海のくらしと景観	2月15日(土) ～4月6日(日)	愛媛県南予地方の宇和海沿岸部では17世紀以降に漁業が盛んとなると同時に、リアス海岸の急傾斜地農地を活かした農業が定着しました。近代に入ると水産加工業、養殖業、そして柑橘農業が全国有数の産業として発展しました。本展では宇和海のくらしと景観に目を向け、歴史資料や民俗資料で紹介します。展示を通じて、重要文化的景観「遊子水荷浦の段畑」、「宇和海狩浜の段畑と農漁村景観」、日本農業遺産「愛媛・南予の柑橘農業システム」にもなっている宇和海の魅力に迫ります。

2 その他

(1) 教員のための博物館の日(8月中旬)

小・中・高等学校教員に歴史文化博物館の学習資源を公開することにより、教員の博物館の活動に対する興味・関心を高め、学校と博物館との主体的なつながりを作り出すことにより、博学連携を深め、持って児童生徒の学習指導の深化を図ります。

(2) 内海清美作品「密●空と海」展示

全国に誇れる地域資源である「四国遍路文化」を展示で発信するため、平成24年9月に歴博の常設展で和紙彫塑家 内海清美作品「密●空と海」をオープンしました。前半章・後半章の展示を経て、平成30年9月、空海の生涯のハイライトを紹介するダイジェスト版に更新しました。

令和6年度 美術館企画展候補

区分	展覧会名 (仮称)	内 容	開催意義
1	世界遺産 大シルクロード展 【開催期間】 2024年6月22日(土) ~9月1日(日) 62日間 【観覧者見込】 59,706人	シルクロードに焦点を当て、中国の洛陽、西安、蘭州、敦煌、新疆地域など各地の主要な博物館、研究機関の所蔵する文物の中から、一級文物を多く含むシルクロードの名宝を紹介する。日本との縁が深く、華やかな唐時代を中心とした中国の名品を紹介するとともに、2014年に「シルクロード:長安-天山回廊の交易路網」として世界遺産に登録された遺跡の遺品も展示する。東京富士美術館企画による全国巡回。	国の一級文物(日本の国宝に相当)20%を含む貴重な文化財が展示され、歴史的にも価値の高い文化財を国内でまとめて鑑賞する貴重な機会となる。四国で唯一の会場。
2	バンクシー&ストリートアーティスト展 Part2 (仮) 【開催期間】 2024年9月7日(土) ~11月17日(日) 62日間 【観覧者見込】 31,744人	ニューヨークで最初期にグラフィティがメディアに取り上げられたタキ183から、グラフィティアートとファインアートの橋渡しをしたヘリングやバスキア、エポックメイキングなバンクシー、そして現代のアートマーケットを席捲するストリートアーティストまで、総勢約40名のストリートアーティストの作品とバンクシーの作品、あわせて約90点を展示し、ストリートアートの歴史と本質に迫る。	国際社会の関心を集め続けるバンクシーの先鋭的な作品を中心に、ストリートアートの歴史的展開を紹介し、世界のアートシーンの最前線を愛媛で体感してもらう貴重な機会となる。
3	道後温泉ものがたり ゆのまちの歴史と文化 (仮) 【開催期間】 2024年9月16日(月) ~11月4日(月) 43日間 【観覧者見込】 5,882人	日本最古の温泉として知られる道後温泉。そのシンボルである道後温泉本館(重要文化財)の建築130周年と、平成30年度から行われてきた保存修理工事が完了することを記念し、神話の時代から現在に至るまでの道後温泉の長い歴史と、伊予松山における文化の一大集積地とも言える「道後」という地で展開した独自の文化芸術の流れをたどる。自主企画展、松山市との共催予定。	愛媛の歴史上重要な地である道後地域の文化芸術の流れを検証。美術館が協力した道後温泉所蔵の美術品調査の成果発表の機会ともなる。

特別展候補

特別展	PHOTOGRAPHY 山川コレクションとその展開 (仮) 【開催期間】 2025年1月31日(金) ~3月20日(木・祝) 42日間 【観覧者見込】 3,557人	山川浩一郎氏(梅錦山川株式会社元代表取締役)の個人コレクション。「美術館での展示に値する作品収集」を念頭に、1987年から2000年頃までの間、自らの関心が高かった写真作品に特化して精力的に収集した、国内および海外の主要写真家の作品の中から約120点を紹介する。	国内外の写真史を辿る上で欠かせない作家の作品で構成される、質の高い個人コレクションであり、写真分野における優れた芸術鑑賞の機会を提供する。
-----	--	---	---

「ふるさと愛媛学」普及推進事業について

1 目的

県内の様々な生活や文化、産業等を住民や市町と県が連携・協働しながら調べ、「ふるさとらしさ」や「愛媛らしさ」を発見・再確認する活動をとおして、それらの貴重な地域資源を特色ある地域づくりに生かすとともに、県民一人一人の学ぶ意欲を高め、ふるさとを誇りに思い郷土を愛する心を育み、地域文化を次世代に継承していくための地域学を、県内各地で広く展開することを目指しています。

2 内容

(1) 調査研究普及活動

ア 「ふるさと愛媛学」調査研究（6年度連携市町：松山市、松野町）

住民や市町と県が連携して調査研究を行い、地域の特色あるくらしや文化、産業等に関する報告書を作成します。

イ ふるさと再発見講座

連携市町において、地域の記憶を次世代に継承する意義や、「ふるさと」への理解を深めるための講座を開催します。



(公民館での聞き取り調査)



(ふるさと再発見講座)

ウ 出前講座・出前授業

これまでの「ふるさと愛媛学」調査研究の成果をもとに、地域や団体、学校等からの要望により、講座・授業を実施します。



(松山市立番町小学校)



(今治市立日吉中学校)

エ 愛媛大学等との連携事業

教員等を対象とした「地域（ふるさと）学習」に関する研修会を実施します。

(2) 「えひめの記憶」編さん活動

ア データベース「えひめの記憶」

愛媛県史や調査研究報告書等をデジタル化し、データベース「えひめの記憶」として愛媛県生涯学習センターホームページで公開します。

議題2

令和6年度社会教育関係事業について

県立図書館の運営状況について

1 利用状況

	開館 日数	入館者数 (人) ※	1日当り 入館者数	学習室 利用者数 (人)	貸出冊数 (冊)		
					一般	児童書	計
3年度 〈対前年度比〉	257	155,273 〈93.9%〉	537	84,983 〈83.6%〉	69,186 〈98.7%〉	76,819 〈109.0%〉	146,005 〈103.9%〉
4年度 〈対前年度比〉	280	175,694 〈113.2%〉	627	98,829 〈116.3%〉	68,065 〈98.4%〉	75,808 〈98.7%〉	143,873 〈98.5%〉
5年度 〈対前年度比〉	289	185,724 〈105.7%〉	643	112,467 〈113.8%〉	67,319 〈98.9%〉	68,225 〈90.0%〉	135,544 〈94.2%〉

※入館者数は、1F子ども読書室、3F一般図書室、4Fえひめ資料室利用者の合計

2 令和5年度取組内容

(1) 資料の収集整理及び利用者サービス

事業名
○ 図書等資料の収集、整理、保存、閲覧・貸出等
○ レファレンス (調査・相談)
○ インターネット・商用データベース閲覧サービス
○ ビジネス、医療・健康、子育て情報支援サービス (課題解決支援)
○ 遠隔地返却サービス
○ 愛媛県行政資料等電子化事業 (デジタルアーカイブの公開含む)

(2) 読書活動の推進及び図書館支援

事業名
○ 公共図書館等への支援、協力
① 相互貸借サービス (相互貸借支援サイトの運営等)
② 研修への職員 (講師) 派遣
③ 協力図書による支援 (一般・児童・読書会・学習支援用 (まなぼん) 図書の一括貸出)
④ 図書館未設置町支援
○ 子ども読書活動推進事業
① ちいさなひととたのしむ絵本事業 (おはなし会開催、絵本リスト及び推薦リスト発行)
② 読書ボランティア等スキルアップ事業 (スキルアップ講座、ビギナーズ講座の実施)
③ おでかけ県立図書館事業 (図書館未設置町への出張貸出、学校等におけるブックトークの開催等)
④ 学校図書館整備支援事業

(3) 普及啓発

事業名	期間等
○ 児童図書、一般図書、郷土資料展示	通年
○ こどもの読書週間 (4/23-5/12)、読書週間 (10/27-11/9) 関連 (書庫見学、図書展示、四国がんセンターとの共催イベント等)	年2回
○ 職場体験受入れ	随時
○ 古文書解説講座	年8回
○ 広報紙の発行、県立図書館HPの運営等	通年

(4) その他

研究会等	年月日	会場	参加者
○ 県読書推進大会	R5. 5. 31	にぎたつ会館	88名
○ 県図書館講習会	R5. 8. 3	県立図書館	70名
○ 図書館職員研修会	R5. 11. 10	県立図書館 (オンライン併用)	40名

3 県立図書館の耐震改修等工事と仮設図書館の設置について

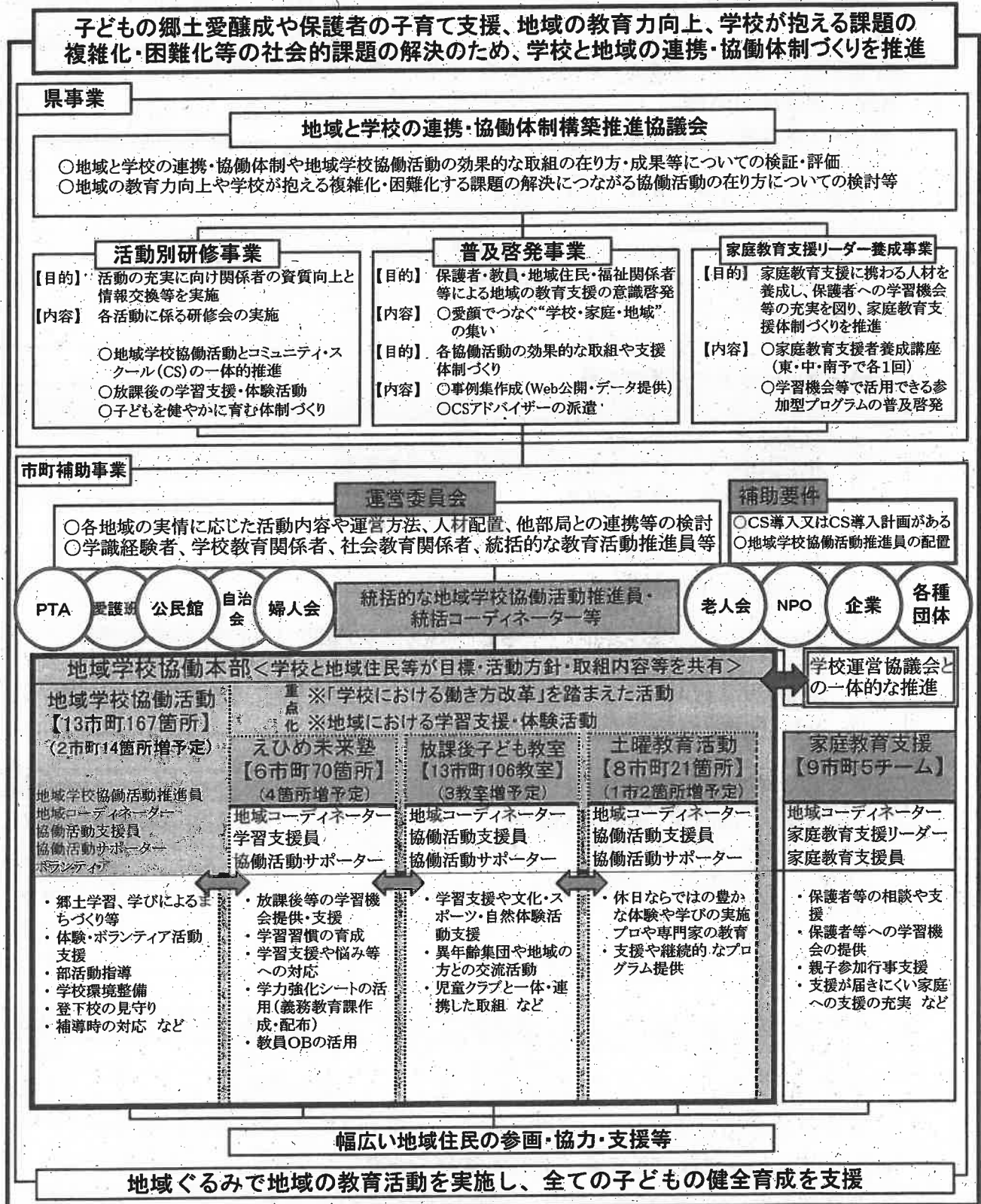
利用者の安全・安心の確保と施設の機能向上を図るため、耐震改修工事とともに、トイレ洋式化等の利用環境の改善対策及び外壁改修等の老朽化対策を行うほか、完全閉館となる工事期間中も図書館サービスを継続するため、仮設図書館 (アイテムえひめ内) を設置・運営する。

(事業期間：令和5年度～8年度)

令和6年度地域ぐるみで育むえひめっ子未来創造事業構造

少子高齢化や地域の教育力の低下、学校が抱える課題に複雑化・困難化等が懸念される中、地域の幅広い方々の参画を得て、子どもの学習・体験活動、家庭教育等の支援を通じ、郷土愛の醸成や保護者の子育てを支え、地域で子どもを育てることができるよう、学校・家庭・地域が連携・協働して教育に取り組む体制づくりを一層強化する必要がある。

そこで、各地域と学校が、子どもの健全育成について目標やビジョンを共有することによって、地域住民等の参画による「地域学校協働活動」「えひめ未来塾」「放課後子ども教室」「土曜教育活動」「家庭教育支援」の効果的な取組を総合的に実施するとともに、県においても、保護者・教職員・地域住民及び企業関係者等が連携・協働して子どもたちを支える教育環境を整備するため、研修や普及啓発活動等に取り組む。



※実施市町及び箇所数(R6.3仮申請時点)。中核市である松山市を除く。

令和6年度 地域ぐるみで育むえひめっ子未来創造事業 事業概要

1 趣旨

少子高齢化や地域の教育力の低下、学校が抱える課題に複雑化・困難化等が懸念される中、地域の幅広い方々の参画を得て、子どもの学習・体験活動、家庭教育等の支援を通じ、郷土愛の醸成や保護者の子育てを支え、地域で子どもを育てることができるよう、学校・家庭・地域が連携・協働して教育に取り組む体制づくりを一層強化する必要がある。

そこで、各地域と学校が、子どもの健全育成について目標やビジョンを共有することによって、地域住民等の参画による「地域学校協働活動」「えひめ未来塾」「放課後子ども教室」「土曜教育活動」「家庭教育支援」の効果的な取組を総合的に実施するとともに、県においても、保護者・教職員・地域住民及び企業関係者等が連携・協働して子どもたちを支える教育環境を整備するため、研修や普及啓発活動等に取り組む。

2 事業の概要

(1) 県事業

① 「地域と学校の連携・協働体制構築推進協議会」の設置

ア 主な役割

- 地域と学校の連携・協働体制や地域学校協働活動の効果的な取組の在り方・成果等についての検証・評価
- 地域の教育力向上や学校が抱える複雑化・困難化する課題の解決につながる協働活動の在り方についての検討等

イ 人数 10名 (学識経験者、福祉関係者、学校教育関係者、社会教育関係者等)

ウ 開催回数 2回

【年間2回の協議会の内容】

- 第1回 事業計画の説明、事例報告、教育支援に係る課題についての協議
- 第2回 事業実績の検討、事業評価

② 活動別研修事業

ア 活動別研修会の開催

- 目的 各活動それぞれの関係者の資質向上、情報交換等を図る。
- 開催回数 (3回)
 - ・「地域学校協働活動」と「コミュニティ・スクール」の一体的な取組推進研修会
 - ・放課後子ども教室・えひめ未来塾指導者研修会 (放課後子ども教室とえひめ未来塾の合同開催)
 - ・新・放課後子ども総合プラン指導者研修会 (放課後子ども教室と放課後児童クラブの合同開催)
- 内容 講義、事例研究、ワークショップ等

③ 普及啓発事業

ア 「愛顔でつなぐ“学校・家庭・地域”の集い」(全体研修会を兼ねる)

- 目的
幼稚園から高校までの全ての子どもの保護者、教員、社会教育関係者に加えて、福祉や企業等の関係者が集い、「子どもを守り育てる」という共通課題をテーマに講演や事例研究、学校・地域教育サポーター制度の紹介等を通して、地域連携による教育支援の在り方について協議・研修する。

- 期日 令和6年8月27日(火)
- 場所 愛媛県生涯学習センター
- 内容 講演、分科会、学校・地域教育サポーター制度の紹介等

イ 事例集の作成・Web公開・データ提供

- 内容 実施市町の優れた取組事例の紹介
- Web公開 教育委員会ホームページ上で公開

ウ CSアドバイザーの派遣

- 目的
地域学校協働活動とコミュニティ・スクール(CS)の一体的な取組推進を図るため、CSの設置を進めようとしている市町に対し、CSアドバイザーを派遣し、説明会や研修会を実施する。

- 期日 令和6年5月～2月
- 場所 市町5箇所
- 内容 研修会、説明会等

④ 家庭教育支援リーダー養成事業

ア 家庭教育支援リーダー養成事業の実施

- 目的
家庭教育支援に取り組む地域の人材発掘やリーダー養成のための講座及び研修会等を実施するとともに、保護者に対する学習の機会や情報提供等に活用できるプログラム集(愛顔の子育てトーク&わーく応援プログラム集:通称「トクわく」)の普及啓発を図り、地域全体で家庭教育を支える体制づくりを推進する。

- 期日 令和6年7月～10月
- 場所 東・中・南予(各1回、計3回実施)
- 内容 家庭教育支援者養成講座(オンデマンド配信と参集で開催)
(講座内容) 事業説明、講義、事例発表、ファシリテーション演習
学習機会や情報提供等で活用できる参加型プログラムの普及啓発
※愛顔の子育てトーク&わーく応援プログラム集
保護者同士が家庭教育や子育てについて学び合うための参加型プログラム(R5年度作成)

(2) 市町補助事業

各市町は運営委員会を設置し、統括的な地域学校協働活動推進員等の配置、活動内容・運営方法の検討、支援活動の実施等に取り組むとともに、各学校区に地域学校協働本部を設置し、地域住民と学校とが子どもの健全育成に係る目標や取組等を共有して総合的な教育支援活動を効果的に実施する。特に、学校運営協議会との一体的な推進を図るよう努める。

① 活動内容・運営方法の検討

各地域の実情に応じた取組内容や事業の運営方法の検討等を行う。

② 人材の配置

人材	内容
統括的な地域学校協働活動推進員及び地域学校協働活動推進員、統括コーディネーター、地域コーディネーター	・統括的な地域学校協働活動推進員等は、地域と学校をつなぐ総合的な企画調整のほか、学校や学校関係者、地域の団体等との連絡調整、地域の協力者の確保・登録・配置、地域の実情に応じた定期的・継続的かつ多様な活動プログラムの企画等を行う。
協働活動支援員	・学校の教育活動の支援や放課後、土曜日等における学習支援・体験・交流活動等のプログラムを中心に実施する。
学習支援員	・特別な知識や経験等を活用し、協働活動支援員では行うことのできない小・中・高校生等への学習支援を実施する。
協働活動サポーター	・放課後、土曜日等を含むプログラムの実施のサポートや子どもたちの安全を管理する。
特別支援・共生社会サポーター	・特別な支援を必要とする子どもたちに対する放課後等の学習支援・体験活動を行う場合、地域の実情に応じて、特別な配慮を必要とする子どもたちの活動をサポートする。
家庭教育支援員	・家庭教育に関する学習プログラム等の中心的な企画・実施や保護者への相談対応等を行う。

③ 各活動の実施

活動	内容
地域学校協働活動	<p>地域住民が学校と連携・協働し、教育活動を支援するとともに、地域住民の自己実現を図り、地域を活性化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の伝統・文化等の継承、郷土・環境学習、キャリア教育、防災・減災等の学習支援 ・まちづくり・まちおこし等に関わる学習支援 ・ボランティア活動、地域清掃・地域行事への参画 ・部活動補助、校内環境整備活動、図書整理等 ・安全支援活動(登下校指導、行事等の安全補助、見守り活動等) ・補導時の対応など
えひめ未来塾	<p>全ての子どもを対象に地域の参画を得て、子どもが主体的に学習に取り組むことのできる場(環境)を設けるとともに、子どもの悩みや相談に応じて学習を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後等の学習機会の提供と支援 ・学習習慣の育成 ・宿題等の学習支援・学力強化シートの活用(義務教育課作成・配布) ・分からない問題等への支援
放課後子ども教室	<p>全ての子どもを対象に、安全安心な子どもの居場所を設け、学習や体験活動等を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後等の学習支援 ・自然体験活動支援 ・スポーツ、伝統文化活動支援 ・「放課後児童対策パッケージ」(令和5年12月25日)を踏まえた放課後児童クラブと一体型の教室整備の推進
土曜教育活動	<p>全ての子どもを対象に、企業等の人材を活用した特色・魅力のある教育プログラムを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の伝統芸能体験学習支援 ・環境課題学習支援 ・郷土学習支援 ・教科学習の充実・発展 ・スポーツ教室等の支援
家庭教育支援	<p>保護者等への学習機会や情報の提供、相談体制の構築等を行い、家庭教育支援の基盤を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育支援チームによる保護者等への相談や支援 ・保護者等への学習機会の提供(「愛顔の子育てトーク&わーく応援プログラム集(トクわく)」を活用した学習会や座談会の開催等) ・親子参加行事への支援

家庭教育支援リーダー養成事業について

1 目的

家庭教育支援に取り組む地域の人材発掘やリーダー養成のための講座及び研修会等を実施するとともに、保護者に対する学習の機会や情報提供等に活用できるプログラム集（愛顔の子育てトーク&わーく応援プログラム集）の普及啓発を図り、地域全体で家庭教育を支える体制づくりを推進する。

【愛顔の子育てトーク&わーく応援プログラム集（通称「トクわく」）】

子育ての悩みや不安を話し合い、学び合うことができる環境を創出するために、県が令和5年度に作成したプログラム集。参加者同士が学び合い、つながり合い、支え合うきっかけづくりとして活用することができる。

2 事業内容

(1) 家庭教育支援者養成講座

ア 対象者

○家庭教育支援の活動をしたいと考えている地域の方

例) 子育て経験者、元教員、スクールカウンセラー、地域企業等

○家庭教育支援に関わっている方

例) 家庭教育支援チーム、公民館、PTA、社会教育・子育て支援関係者等

イ 研修内容（オンデマンド配信と参集によるハイブリッド開催）

○家庭教育支援に関する基本的な知識の習得（オンデマンド配信）

○「トクわく」を活用したワークショップ等に必要なスキルの習得（演習）

ウ 開催日時・場所（予定）

地区	開催日時	会場	予定人数
中予	R6. 7月～10月	未定	40名
東予			30名
南予			30名

※東・中・南予で1回ずつ、計3回の開催

(2) 「トクわく」の普及啓発

ア 市町教育委員会や社会教育関係団体（PTA等）に対する説明会の実施

○「トクわく」の概要等を説明し、関係者への周知や活用を依頼する。

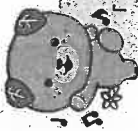
イ 県のHP及び県が主催する各種研修会等でのPR

○県HPにて公開するとともに、各種研修会等でリーフレットを活用した周知を図る。

ウ 県社会教育課職員による出前講座の実施

○要望に応じて、県社会教育課職員が「トクわく」の出前講座を実施する。

（日程など調整が可能な場合のみ）



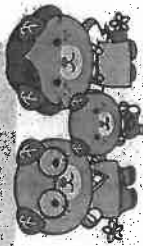
県ホームページで公開中!

「トクわく」は、県ホームページ(右記の2次元コード)からダウンロードできます。愛媛県教育委員会では、家庭教育支援の充実を目指し、随時プログラムの改善や新プログラムの開発に取り組んでいます。最新の情報は、県ホームページでご確認ください。
<https://www.pref.ehime.jp/page/1258.html>



つながろう! 愛顔の子育て

「トクわく」は、子育て中の保護者だけでなく、地域の様々な年代の人たちも対象としています。人と人につながり、支え合う仲間づくり、地域づくりにも役立ちます。ぜひ、ご利用ください。



「トクわく」Q&A

- Q 「トクわく」の進行は難しいですか?
- A プログラムの展開がとてもシンプルなので、簡単に進行できます。
- Q 「トクわく」は何分ぐらいかかりますか?
- A 基本は45分です。アレンジ次第では15分でもできます。
- Q 「トクわく」は何人ぐらいが進めやすいですか?
- A 4~5人でグループを作り、全体で10~20名ぐらいがおすすめです。
- Q 「トクわく」はどんな場面で活用できますか?
- A P.T.Aや子育て関連施設、公民館等の講座やイベントで活用できます。
- Q 「トクわく」の活用で期待できることはどんなことですか?
- A 子どもの理解や家庭教育についての新たな気付きが期待できます。



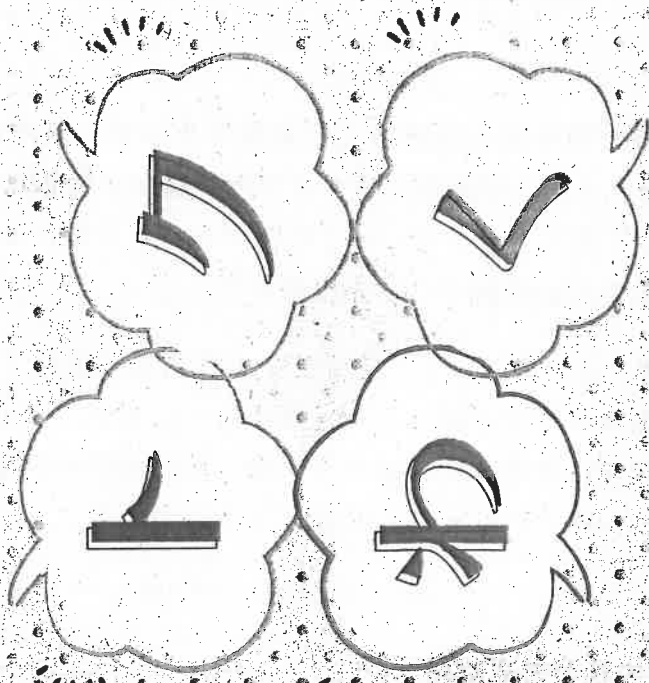
「トクわく」に関するお問合せはこちらまで

愛媛県教育委員会事務局 社会教育課
TEL:089-912-2930 MAIL:shakaikyo@pref.ehime.lg.jp

愛顔の子育て

トクわく&わく応援プログラム集

「愛顔の子育てトク&わく応援プログラム集」(通称:トクわく)は、家庭教育や子育てについて気軽に話し合う場を提供するためのプログラムです。地域ぐるみで子育て家庭を応援し、参加者同士が学び合い、つながり合い、支え合うきっかけづくりとして活用することができます。ワークショップや座談会等で使ってみませんか?



子育てでのヒントは話し合いから

「トクわく」では、エピソードなどをきっかけに、話し合いを通して多様な考えを知り、自身の子育てについてちょっと立ち止まって考えることを大切にしています。

「トクわく」プログラム一覧

A 【乳幼児期】乳幼児の保護者を対象

- A-1 子育ては楽しいけれど…イライラしたときどうする？
- A-2 困っていませんか？子どものイヤイヤ期
- A-3 やってみたい！子どもと楽しむ運動遊び
- A-4 ワクワク♡ドキドキ♡ちよっとハラハラ新1年生！

B 【学童期】小学生（低・中学年）の保護者を対象

- B-1 生活のリズムは「早寝・早起き」から
- B-2 励まし方やほめ方、どうしてる？
- B-3 つい感情的に…注意のコツは？
- B-4 読書っていい☆

C 【思春期】小学生（高学年）～中学生の保護者を対象

- C-1 揺れ動く子どもの心…どう接すればいいの？
- C-2 朝ごはんどうしてる？
- C-3 我が家のルールづくり
- C-4 大丈夫？子どもとスマホ

D 【支援期】子育てを支援する幅広い年代の方を対象

- D-1 あいさつでつながろう
- D-2 今どきの子どもたちは…？

E 【準備期】子育てについて考えたい方を対象

- E-1 子どもの存在って…
- E-2 仕事も育児もスマイルで

保護者も地域のみなさんちよっと話してみませんか？

おまけ サイコロふって、子育てブチトーク！

それぞれのプログラムは3つのパートで構成

ワークシート

A-1 子育ては楽しいけれど…イライラしたときどうする？

子育てが楽しくないときは、自分自身を責めたり、子どもを責めたりしがちです。でも、子育ては楽しいけれど、イライラしてしまうときがあります。そんなときは、自分自身を責めたり、子どもを責めたりしないで、まずは自分の気持ちを落ち着かせ、深呼吸をしてみましょう。そして、周りの人に話を聞いてもらうことも大切です。

ワークシートには、子育てで悩んでいる方へのアドバイスや、イライラしたときの対処法が載っています。ぜひ読んでみてください。

ちよこっと豆情報！

ちよこっと豆情報！

子育てについて悩んでいる方へのアドバイスや、イライラしたときの対処法が載っています。ぜひ読んでみてください。

子育てで悩んでいる方へのアドバイスや、イライラしたときの対処法が載っています。ぜひ読んでみてください。

展開例

A-1 子育ては楽しいけれど…イライラしたときどうする？

ワークシートには、子育てで悩んでいる方へのアドバイスや、イライラしたときの対処法が載っています。ぜひ読んでみてください。

ワークシートには、子育てで悩んでいる方へのアドバイスや、イライラしたときの対処法が載っています。ぜひ読んでみてください。

パート1

ワークシート

身近な子育てのエピソードを基に、子どもの生活習慣や子どもの接し方等について話し合います。

パート2



ちよこっと豆情報！
家庭教育や子育てに関連した資料や参考になるサイトを紹介します。必要に応じて活用してください。

パート3

展開例

通行の流れをセリフ形式でまとめていきます。プログラムの展開がイメージしやすく、安心して進行することができます。



令和6年度 地域教育プロデューサー配置支援事業

1 「地域教育プロデューサー配置支援事業」とは

市町が地域おこし協力隊制度の活用により、地域教育プロデューサー及び地域教育協力隊を配置する。県がネットワーク構築、サポートを実施し、地域教育プロデューサー及び地域教育協力隊の活動の支援を図る。

2 本事業のねらい

「地域課題の解決」を目指す学校と地域の橋渡し役・つなぎ役として、市町が「学校を核とした地域づくり」「教育の魅力化による地方創生」「地域への愛着心の育成」を推進するために配置する「地域教育プロデューサー」等を県が登録及びサポートすることで取組の促進を図る。

3 「地域教育プロデューサー」等の役割・業務内容

各市町、各地域に配置される地域教育プロデューサー等は、地域の教育課題に応じた業務にあたることから、業務内容は一律ではなく、多様である。

(例)

- ・ 学校と地域社会(地域住民、行政、企業、NPO 等)との協働体制づくり
- ・ 社会に開かれたカリキュラムづくり
- ・ 地域社会での学習環境・学習機会づくり
- ・ 多様性のある教育環境と地域への人の流入の創出
- ・ 社会関係資本を活用した魅力ある教育環境づくり

4 本事業の効果

- ・ 地域学校協働活動推進員として、地域ぐるみで育むえひめっ子未来創造事業への協力
- ・ 地域の教育力の向上及び教育に関連した地域活性化
- ・ 小・中学校の総合学習及び高校の探究学習の支援・伴走
- ・ 高校魅力化の支援及び推進
- ・ それぞれの能力を生かした特色ある教育
- ・ 地域人材や地元企業等との連絡・調整による教職員の業務軽減

5 本事業の現状と課題

(1) 現状

- ・ 地域教育プロデューサー等の困っていることや悩んでいることの相談する場が少ない。
- ・ 地域おこし協力隊の任期が終われば、地域との関係が失われてしまうことがある。
- ・ 知名度が低い。

(2) 課題

- ・ 地域教育プロデューサー等同士及び市町担当者等とのネットワーク強化
- ・ 地域での活動の継続
- ・ 役職・身分の保障
- ・ 生業づくり
- ・ 優良事例の周知による外部へのアピール強化
- ・ 市町・学校等へのPR強化

6 本事業の方策と取組

(1) 方策

- 交流の場の設定（地域教育プロデューサー等同士及び市町担当者等、学校・地域等）
- 申請・登録の継続
- 関係団体等との連携
- 優良事例等の発表の場の設定
- HP等での広報活動

(2) 取組

- 情報交換会
 - ・ 情報交換等の場を設定することにより、活動が円滑に進むよう支援を図る。(オンラインにて実施)
 - ・ えひめスーパーハイスクールコンソーシアム（高校教育課主幹事業）参加後に、地域教育プロデューサー等が課題等を持ち寄り、交流を図る。
- 登録証、証明証の発行
 - ・ 市町・市町教委からの申請により、新規登録者の登録証、証明証の発行及び任期終了者の再登録作業を行う。
- 地域教育プロデューサー等事例紹介
 - ・ 「愛顔でつなぐ“学校・家庭・地域”の集い」の分科会において、地域教育プロデューサー等の事例発表を行い、地域教育プロデューサー等及び参加者とのネットワーク形成を図る。
 - ・ 地域教育実践交流会での事例発表者を推薦し、参加者に地域教育プロデューサー等の活動の周知及び交流を図る。
- HP等による広報活動
 - ・ 県HPに最新の配置状況を掲載し、各地域教育プロデューサー等のHP及びSNSへのリンクを張り、周知を図る。
- 県地域政策課、えひめ暮らしネットワークとの連携
 - ・ 情報提供及び情報交換を行う。
- 高校教育課との連携
 - ・ えひめスーパーハイスクールコンソーシアムでの地域の有識者として推薦を行うなど、コンソーシアムとの関わりを深める。

7 配置状況 (R6. 4. 15時点) 地域教育プロデューサー8市町18名、地域教育協力隊2市町3名

地域おこし協力隊 (元：7名、現役：14名)

① 地域教育プロデューサー

市町名	氏名	隊員歴	登録期間	活動内容
上島町	中山 なぎ	現	R9. 3. 31 まで	・ 愛媛県立弓削高等学校の高校魅力化の支援、推進 ・ 上島町公営塾の運営、学校・地域連携
	河村 俊秀	現	R9. 1. 31 まで	・ 愛媛県立弓削高等学校の魅力化の支援、推進 ・ 弓削高校魅力化コーディネート業務 ・ 弓削高校と小中学校・地域の連携支援、推進
伊予市	本多 正彦	元	R7. 3. 31 まで	・ 双海町翠地区ほたる保存会事務局長（環境教育） ・ 伊予市グリーン・ツーリズム推進協議会副会長（体験活動） ・ 地域教育実践交流会実行委員 ・ 一般社団法人えひめ暮らしネットワーク参事
東温市	藤岡 慶太	元	R8. 3. 31 まで	・ 学校・家庭・地域連携推進事業支援 ・ 多世代交流拠点施設管理・運営 ・ 総合型地域スポーツクラブ管理・運営 ・ 一般社団法人えひめ暮らしネットワーク参事
久万高原町	山路 稜子	元	R7. 3. 8 まで	・ 地域の自然や文化を取り入れた総合学習や探究活動の支援 ・ 教員のための課外学習支援、伴走
内子町	小田原 希実	元	R7. 3. 31 まで	・ 愛媛県立内子高等学校小田分校の教育魅力化推進
西予市	長岡 湧太	現	R9. 3. 31 まで	・ 学校、地域の連携推進

西予市	染田 麻弓子	現	R6. 6. 30 まで	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター・児童・生徒の課外学習支援・伴走 ・児童及び生徒・学校・地域のニーズを踏まえた教育に関するプログラムの開発支援、実施 ・総合学習や探究活動の支援・講師マッチング
	島田 雄飛	現	R7. 7. 31 まで	<ul style="list-style-type: none"> ・市内高校の魅力化 ・学校、地域の連携推進
	池ヶ谷 実希	現	R8. 5. 31 まで	<ul style="list-style-type: none"> ・市内高校の魅力化 ・学校、地域の連携推進
	増田 崇人	現	R9. 2. 28 まで	<ul style="list-style-type: none"> ・市内高校の魅力化 ・学校、地域の連携推進
鬼北町	川井 康悦	現	R7. 3. 31 まで	<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛県立北宇和高等学校の高校魅力化の支援、推進 ・鬼北町公営塾の運営
	藤波 架江	現	R7. 3. 31 まで	<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛県立北宇和高等学校の高校魅力化の支援、推進 ・鬼北町公営塾の運営
	浅越 聖光	現	R8. 3. 31 まで	<ul style="list-style-type: none"> ・公営塾運営（教科指導・広報活動） ・北宇和高等学校教育サポート
	森實 慧	現	R8. 3. 31 まで	<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛県立北宇和高等学校の高校魅力化の支援、推進 ・北宇和高校魅力化コーディネート業務 ・北宇和高校教育寮のハウスマスター
	中井 千尋	現	R8. 3. 31 まで	<ul style="list-style-type: none"> ・北宇和高等学校の高校魅力化事業に関すること ・北宇和高校教育寮ハウスマスター
松野町	六車 浩二	元	R7. 3. 21 まで	<ul style="list-style-type: none"> ・町内及び近隣小中学校への出前授業 ・電子工作・プログラミング教室開催 ・愛媛大学と連携して農作業ロボットを開発
	川嶋 健佑	元	R7. 3. 21 まで	<ul style="list-style-type: none"> ・俳句を通じた地域理解への取り組み及び国語教育

② 地域教育協力隊

市町名	氏名	隊員歴	登録期間	活動内容
松山市	齋藤 恵子	現	R7. 3. 31 まで	<ul style="list-style-type: none"> ・調理師免許や野菜ソムリエ、フードコーディネーターの資格を生かした「食」に関するイベントの企画・運営 ・小中学校、高等学校の授業支援 ・地域団体と連携して特産品を開発
	高橋 伸一	現	R8. 3. 31 まで	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校教諭の経験を生かした学校行事等への協力 ・授業支援（音楽・図工・総合・特活等） ・「主体的・対話的で深い学び」への提案・助言
内子町	武田 惇奨	元	R7. 3. 31 まで	<ul style="list-style-type: none"> ・内子町 ICT 教育支援全般

※ 参考 登録延べ人数 地域教育プロデューサー20名、地域教育協力隊3名

令和6年度 ^{えがお}愛顔でつなぐ“学校・家庭・地域”の集い 開催要項

【趣旨】

変化が激しく予測が困難な時代にあっても、自らの発想と力で未来を切り開くたくましい子どもたちを育成するためには、学校・家庭・地域が連携・協働し、地域ぐるみで子どもたちを育む体制づくりに取り組むことが一層重要になっている。そこで、愛媛県教育委員会においては、社会総がかりによる教育の具現化に向け、各種施策に取り組んでいるところである。その具現化の一つとして、県内の幼稚園から高等学校までの保護者、教職員等及び行政機関の教育関係者並びに社会教育関係団体に加え、福祉関係者、警察、企業、NPO法人等の関係者等が一堂に会し、子どもたちに関わる大人の一人として、子どもたちの連続した育ちという視点を踏まえ、現状と課題、方向性、具体策、展望等について研修や情報交換を行うことで、「社会総がかりの教育の推進」の実現に寄与し、未来を担う子どもたちの豊かな教育環境づくりに資する。

- 1 主 題 「社会総がかりで、愛媛の子どもたちを健やかに育てよう」
- 2 主 催 愛媛県教育委員会
- 3 共 催 愛媛県幼稚園小中学校高等学校PTA連合会連絡協議会
〔 愛媛県国公立幼稚園・こども園PTA連合会
愛媛県PTA連合会
愛媛県高等学校PTA連合会
愛媛県私立中学高等学校保護者会連合会 〕
- 4 後 援 愛媛県市町教育委員会連合会、「えひめ教育の日」推進会議、
(予定) 公益財団法人愛媛県教育会、愛媛県国公立幼稚園・こども園PTA連合会、
愛媛県PTA連合会、愛媛県高等学校PTA連合会、
愛媛県私立中学高等学校保護者会連合会、愛媛県小中学校長会、
愛媛県高等学校長協会、愛媛県社会教育委員連絡協議会、
愛媛県国公立幼稚園・こども園教育研究協議会、愛媛県教育研究協議会、
愛媛県高等学校教育研究会、愛媛県愛護班連絡協議会、
愛媛県公民館連合会、愛媛県連合婦人会
- 5 日 時 令和6年8月27日(火) 12:30~16:30
- 6 場 所 愛媛県生涯学習センター(県民小劇場ほか)
- 7 参加者 PTA会員、保育士、幼・小・中・高・特別支援学校教職員、市町教育委員会職員、「地域ぐるみで育むえひめっ子未来創造事業」に係るスタッフ、地域教育プロデューサー、地域教育協力隊、社会教育士、社会教育関係団体会員、学校教育関係団体関係者、福祉関係者、警察関係者、企業関係者、NPO法人関係者、学生 等
350~400名

8 日 程

12:00	12:30	12:45	14:15	14:35	16:20	16:30
受付	開会 行事	講演 (90分)	移動	分科会 (105分)	閉会 行事	

12:00～12:30 受付 [30分間]

12:30～12:45 開会行事 (場所：県民小劇場) [15分間]
 主催者挨拶 愛媛県教育委員会教育長
 問題提起 愛媛県幼稚園小中学校高等学校PTA連合会連絡協議会

12:45～14:15 講演(場所：県民小劇場) [90分間]
 講師：大畑 伸幸 氏
 特定非営利活動法人おむすび理事長/元島根県益田市教育委員会ひと
 づくり推進監

14:35～16:20 分科会・出前授業 [105分間]

分科会	テ ー マ
第1分科会	【地域学校協働活動】 幅広い地域住民の参画により、学校と地域が連携して子どもたちを 育てる体制づくりをどのように進めるか
第2分科会	【子どもの居場所づくり】 全ての子ども・若者が安心して過ごせる地域の居場所づくりをどの ように進めるか
第3分科会	【子育て・家庭教育支援】 保護者と子どもを支え育む子育て・家庭教育支援の体制づくりをど のように進めるか
第4分科会	【地域教育の担い手づくり】 子どもと地域をつなぎ、地域の学びを豊かにする人材の育成をどの ように進めるか
出前授業	【えひめ学校・地域教育サポーターの活用】 えひめ学校・地域教育サポーターを活用して、子どもたちの豊かな学 びや体験活動の充実を図ろう

16:20～16:30 閉会行事 (場所：各分科会会場)

いま、地域の学びと実践をコーディネートする 社会教育士の活躍が期待されています！

社会教育主事講習を
受講しませんか？

だれもがスキルアップしたい3つの能力が身に付きます！

- ①ファシリテーション能力 人のやる気に火をつけ、意識・行動の変化を促す！
- ②プレゼンテーション能力 地域で共有したい想いや情報をより分かりやすく伝える！
- ③コーディネート能力 信頼し合い、支え合う関係づくりをコーディネート！

●社会教育士とは…

社会教育士とは「社会教育の専門的知識を有していることを表す称号」のことです。

地域を面白くしたい、新たな人ともっと出会いたい、多様な人ともっとつながりながら活動したい、という前向きな気持ちになれるきっかけ…これらのきっかけにあたる取組を、人々の自由で自発的な学習活動を支援する社会教育という分野では、「学び」と呼んでいます。こうした「学び」を社会のいたるところにたくさん仕掛け、豊かな地域づくりへの展開を支援する専門人材が、「社会教育士」です。

●社会教育士の役割と期待されることは…

社会教育士には、NPOや企業等の多様な主体と連携・協働し、多様な分野における学習活動の支援を通じて、人づくりや地域づくりに携わる次のような役割が期待されています。

- ◇学校・家庭・地域が連携した教育活動や、地域づくり、福祉、環境等の様々な分野での地域活動、ボランティア活動等において、専門的知識や能力を活かして活躍する。
- ◇行政や企業等での職員の人材育成や、学びを通じた人づくり・つながりづくり、地域課題の解決等の担当者として活躍する。
- ◇「社会教育士」としての共通の知識やネットワークにより、分野を越えたセクションでの連携・協働を促進するために活躍する。

●社会教育士の資格を取得するためには…

社会教育主事講習を受講する方法と、大学での養成課程で必要な単位を修得する方法があります。

◇愛媛県在住の方が受講しやすい社会教育主事講習は、次の3つがあります。

社会教育主事講習 [A]

- [時期] 7月～8月
- [会場] 社会教育実践研究センター（東京都）
- 通常コース
- オンラインコース

社会教育主事講習 [B]

- [時期] 1月～2月
- [会場] 主会場：社会教育実践研究センター（東京都）、愛媛会場：県生涯学習センター他
- オンライン+集合

四国地区 社会教育主事講習

- [時期] 7月～8月
- [会場] 国立大学法人愛媛大学（R6予定）
- オンライン+集合
- ※四国4県の大学で持ち回りにて実施

※オンラインやオンデマンドを活用して、自宅や職場で受講することができます。

社会教育士

学校や地域で活躍しましょー



社会教育士

●問合せ先●

愛媛県教育委員会事務局 社会教育課社会教育グループ
Tel : 089-912-2933 Mail : shakaikyo@pref.ehime.lg.jp
URL : <https://www.pref.ehime.jp/page/39524.html>

社会教育士について詳しく知りたい方は、文部科学省社会教育士特設サイトをご覧ください。→

特設サイト



「小・中学生のふるさと学習作品展」事業について

【事業の趣旨】

小・中学生が愛媛ゆかりの偉人について理解を深め、郷土に対する誇りと愛情を育む学社融合を促進するとともに、学校での「教科」や「総合的な学習の時間」等の学習成果を深めるため、子どもたちが愛媛の偉人を題材にして調査・研究に取り組むことを支援する。

【事業の概要】

- 1 募集期間 令和6年9月1日(日)～9月18日(水)
- 2 表彰 レポート・壁新聞の2部門において愛媛県知事賞他12賞を授与
- 3 作品展示 愛媛人物博物館、生涯学習“夢”まつり、巡回展(東・中・南予)
- 4 応募状況の推移

年度	応募総数	応募内訳		応募校数
		レポート	壁新聞	
令和5年度	229	137	92	49校
令和4年度	227	125	102	47校
令和3年度	216	107	109	42校
令和2年度	159	81	78	38校
令和元年度	424	262	162	51校

※応募総数…愛媛県生涯学習センターに送付された作品数

5 事業の周知及び支援方法

- (1) 各市町教育委員会に本事業の趣旨や成果等を伝え、各学校への周知を依頼する。
- (2) 各教育事務所別の校長会等で依頼していただく。
- (3) 指定管理者が発行するイベントガイドやHPにて広報活動を行う。
- (4) 夏季休業中に児童生徒への支援として「お助け見学会」を開催する。

令和6年度「小・中学生のふるさと学習作品展」事業 実施要項（案）

1 目 的

私たちのくらしや社会の発展に貢献してきた人物や現在活躍している人物で、愛媛にゆかりの深い人物について、県内小・中学生が夏季休業中等を利用して自主的な調査・研究を行うことにより、学校での「教科」や「総合的な学習の時間」等の学習成果をさらに深化させる。

特に、小・中学生が郷土の人物を題材にして、近隣の人々や文化遺産、社会教育施設等の地域の教育資源や学習の機会を活用した自主的な調査・研究に取り組むことによって、これからの社会を生きる子どもたちの自ら課題を発見し解決する力やコミュニケーション能力、物事を多様な観点から考察する力等を養うとともに、郷土への誇りと愛情をはぐくむことを目的とする。

2 主 催 愛媛県教育委員会

3 共 催 株式会社レスパスコローポレーション (愛媛県生涯学習センター指定管理者)

4 後 援 (予定)

愛媛県市長会・愛媛県町村会・愛媛県市町教育委員会連合会・愛媛県文化協会
・愛媛県図書館協会・公益財団法人愛媛県教育会・愛媛県教育研究協議会・愛媛県小中学校長会・愛媛県特別支援学校長会・愛媛県私立中学高等学校連合会・愛媛県PTA連合会・愛媛新聞社・NHK松山放送局・南海放送・テレビ愛媛
・あいテレビ・愛媛朝日テレビ・FM愛媛・四国中央テレビ・ハートネットワーク・上島町CATV・今治CATV・FMラヂオバリバリ・愛媛CATV・ケーブルネットワーク西瀬戸・八西CATV・西予CATV・宇和島ケーブルテレビ

5 作品募集

(1) 小・中学生が夏季休業中等に行った、愛媛にゆかりの深い人物に関する自由な調査・研究について作品を募集し、表彰を行う。

(2) 対象者

- ・県内の小・中学校及び中等教育学校、特別支援学校の該当学年とする。
- ・個人の調査・研究とする。

(3) 規 格

- ・レポート部門（規格：A3用紙まで・画用紙は4つ切りまで・枚数の制限なし）
- ・壁新聞部門（規格：とりのこ用紙2枚以内・画用紙は壁新聞の対象外）

(4) 留意事項

- ・私たちのくらしや社会の発展に貢献した人物や現在活躍している人物で、愛媛にゆかりのある人を調査・研究したものとする。なお、対象人物については、過去の偉人・賢人ばかりでなく、現在、身近なところで地域のために貢献している人物も含む。

・インターネットからプリントアウトした物を貼り付けただけの作品は除く。

(5) 応募期間 令和6年9月1日(日)～9月18日(水)

(6) 応募先 〒791-1136 松山市上野町甲650番地 県生涯学習センター

6 特別賞等作品審査会

(1) 期 日 令和6年10月11日(金)

(2) 場 所 愛媛県生涯学習センター

(3) 特別賞

愛媛県知事賞・愛媛県議会議長賞・愛媛県教育委員会教育長賞・愛媛県市長会長賞・愛媛県町村会長賞・愛媛県文化協会会長賞・愛媛県図書館協会会長賞・公益財団法人愛媛県教育会理事長賞・愛媛県教育研究協議会会長賞・愛媛県小中学校長会長賞・愛媛県PTA連合会長賞・愛媛新聞社社長賞・愛媛県生涯学習センター所長賞

(4) 備 考

特別賞選定後、優秀賞、努力賞を選定する。

7 特別賞受賞作品表彰式

(1) 期 日 令和6年11月9日(土)

(2) 場 所 愛媛県生涯学習センター

8 作品展示

(1) 愛媛県生涯学習センターでの展示〈特別賞・優秀賞受賞作品展示〉

令和6年11月9日(土)～11月21日(木)

(2) えひめ生涯学習“夢”まつり〈特別賞受賞作品展示〉

令和6年11月30日(土)～12月1日(日)

(3) 巡回展(南予・東予の順で実施)〈特別賞・各地区優秀賞受賞作品展示〉

南予：愛媛県歴史文化博物館

〒797-8511 西予市宇和町卯之町4-11-2 TEL:0894-62-6222(代表)

〈特別賞受賞作品及び南予地区優秀賞受賞作品展示〉

令和6年12月7日(土)～令和6年12月25日(水)

中予：フジグラン松山

〒790-8576 松山氏宮西町一丁目2番1号 TEL:089-922-8111(代表)

〈特別賞受賞作品及び中予地区優秀賞受賞作品展示〉

令和7年1月6日(月)～令和7年1月12日(日)

東予：愛媛県総合科学博物館

〒792-0060 新居浜市大生院2133-2 TEL:0897-40-4100(代表)

〈特別賞受賞作品及び東予地区優秀賞受賞作品展示〉

令和7年1月22日(水)～令和7年2月6日(木)

(4)入賞作品に関して、ホームページおよび県広報媒体等にて広く県民に発信する。

9 その他

夏季休業中に、愛媛県生涯学習センター「愛媛人物博物館」にて、研究テーマの選定や研究方法についての『お助け見学会』を実施する。

【問合せ先】

愛媛県教育委員会事務局社会教育課

〒790-8570

松山市一番町4丁目4-2

TEL:089-912-2933・FAX:089-912-2929

E-mail:shakaikyo@pref.ehime.lg.jp

えひめ学校・地域教育サポーター 登録企業・団体一覧

令和6年2月1日現在

★がついている企業・団体は、学校教育だけでなく、放課後子ども教室や公民館活動等の地域における教育活動についても御支援いただける企業・団体です。

No	企業・団体等名	No	企業・団体等名	No	企業・団体等名
1	有限会社 あさひ(ティサービスセンターあさひ)★	87	株式会社 順栄村★	172	松山歯科衛生士専門学校
2	朝日社(株)	88	公益財団法人 生命保険文化センター★	173	井筒農機株式会社
3	株式会社 伊予銀行★	89	全日本空輸株式会社/ANAあきんど株式会社★	174	株式会社 東洋建設★
4	株式会社 伊予越前屋	90	DCM株式会社★	175	株式会社 松山機工工業
5	うま農業協同組合★	91	竹中金属株式会社 テクノみかた工場	176	淡川造船株式会社
6	株式会社 SSP	92	株式会社ダスキンプロダクト中四国 愛媛工場	177	BEMAC株式会社
7	SMBCコンシューマファイナンス株式会社★	93	NPO法人『Do』	178	愛媛フレット(株)
9	株式会社 愛媛銀行★	95	(株)日本交通社★	179	有限会社 ゆうらく★
10	愛媛県 県民環境部 防犯監視管理課★	96	日本赤十字社愛媛県支部★	180	株式会社小関精工
11	愛媛県 県民環境部 消防防災安全課★	97	柏方産業株式会社★	181	丸レク株式会社 日本庭園 南楽園★
12	愛媛県 今治保健所★	98	株式会社 ブルーム・クラシック 愛媛テクノ工場	182	太陽石油株式会社 四国事業所
13	公益財団法人 愛媛県学校給食会	99	舟橋士法人伊予★	183	月原自動車 株式会社
15	愛媛県 スポーツ・文化部 まなび推進課(生涯学習センター駐在)★	100	マエダ商事 株式会社	184	キョクヨーフーズ株式会社
16	愛媛県教育委員会 文化財保護課★	101	松山松務署	185	ヤマセイ株式会社
17	社会福祉法人 愛媛県共同会	103	リージョナルデザイン株式会社★	186	有限会社 アボトライ★
18	愛媛県警察本部 交通課 交通企画課★	104	愛媛県南予地方局 総務課民課★	187	松山空港ビル 株式会社
19	愛媛県警察本部 生活安全課 少年課★	105	宇和島保健所 健康推進課★	188	日本航空 株式会社 松山支店★
20	愛媛県警察本部 総務課 広報課民課★	106	宇和島保健所 生活衛生課★	189	石田クリエーティング 株式会社★
21	愛媛県南予保健所 環境対策課★	107	宇和島保健所 環境保全課	190	松山観光ホテル 株式会社
22	愛媛県南予保健所 自然保護課★	108	宇和島保健所 企画課★	191	石橋汽船株式会社 松山・小島フェリー株式会社★
23	愛媛県公営企業管理局 松山発電工水管理事務所★	110	八幡浜保健所	192	日本ボイスカウト愛媛県連盟★
24	愛媛県 西条保健所★	111	愛媛県美術館★	193	四国興行フェリー株式会社★
25	愛媛県在宅介護研修センター★	112	愛媛県保健医療協議会★	194	有限会社 安岡洋行★
26	愛媛県 若狭湾研究所★	113	富士電機株式会社 松山営業所	195	宇和島自動車株式会社★
27	愛媛県 産業技術研究所 繊維産業技術センター★	114	愛媛県産業能力開発促進支援センター	196	株式会社 あわし屋
28	愛媛県 産業技術研究所 技術開発部	115	河原電子ビジネス専門学校★	197	双葉産業株式会社 四国工場
29	愛媛県 産業技術研究所 食品産業技術センター	116	河原医療福祉専門学校★	198	瀬戸内運輸株式会社(せとうちバス)
30	愛媛県 産業技術研究所 繊維産業技術センター★	117	河原デザイン・アート専門学校	199	PHC株式会社
31	愛媛県 産業技術研究所 繊維技術センター★	118	河原アイパットワールド専門学校	200	一般社団法人 愛媛ゆめ教育協会★
32	愛媛県 産業技術研究所 繊維技術センター★	119	学校法人河原学園 河原医療大学校 新居浜校★	201	特定非営利活動法人 せとる★
33	愛媛県 産業技術研究所 繊維技術センター★	120	学校法人河原学園 河原外語観光・製菓専門学校★	202	まつやまNPOサポートセンター★
34	愛媛県 産業技術研究所 繊維技術センター★	121	河原ビューティモード専門学校★	203	一広株式会社
35	愛媛県 四国中央保健所★	122	学校法人河原学園 河原医療大学校★	204	シノワ株式会社
36	社会福祉法人愛媛県社会福祉協議会★	123	アビリティセンター株式会社	205	株式会社ジョージ★
37	愛媛県身体障がい者福祉センター★	124	今治造船株式会社	206	愛媛県企画振興課 総合政策課
38	道後 ゆう★	125	株式会社 内子フレッシュパークからり	207	江南ラミネート株式会社★
39	えひめ障がい者就業・生活支援センター	126	JRホテルクレメント宇和島	208	愛媛県公学生服株式会社★
40	しげのぶ酒造★	127	株式会社 N.T.T.ドコモ四国支店	209	愛媛県産業技術研究所 企画管理部
41	しげのぶ酒造★	128	N.T.T.西日本愛媛支店	210	愛媛県選挙管理委員会事務局★
42	どうご酒造	129	公益財団法人 愛媛県審判協議会★	211	ミツウホーム四国株式会社★
43	福祉工務いだい清風園	130	愛媛県金融広域協議会★	212	株式会社日本エイジェント(お部屋さがし物語)★
44	ほほえみ工業ぱれっと酒造★	131	川之江酒造株式会社★	213	依川印刷株式会社
45	愛媛県消費生活センター★	132	橋本製糖株式会社	214	トヨタ&F西四国株式会社★
46	愛媛県産業能力開発協会★	133	橋本製糖株式会社	215	コスモ松山石油株式会社★
47	愛媛県人権啓発センター★	134	クリーンメカニカル株式会社	216	株式会社ANAエアサービス松山
48	愛媛県水産研究センター★	135	四国興業株式会社	217	株式会社日野
49	愛媛県総合科学博物館★	136	西岡興行(株)	218	公益財団法人 日本選手能力検定協会★
50	愛媛県 スポーツ・文化部 まなび推進課★	137	セキ株式会社	219	大進建設株式会社
52	愛媛県 中予地方局 総務企画部 総務課民課★	138	一般財団法人 横善会 十全総合病院	220	スリーラインズ株式会社
53	愛媛県 中予保健所 企画課	139	株式会社 船務研修工場	221	株式会社 住工研にかせ★
54	愛媛県 中予保健所 生活衛生課	140	株式会社ダイキアックス★	222	株式会社マルウ水産★
55	愛媛県動物愛護センター★	141	株式会社 干菓工場	223	株式会社エヒメスポーツセンターテイメント★
56	愛媛県 東予地方局 地域政策課	142	子寛てん住住宅・総社業 西川建設株式会社★	224	医療法人みかわクリニック★
57	愛媛県 東予地方局 農村政策課	143	NPO法人 NEXT CONNECTION★	225	一般社団法人 WONDER EDUCATION★
58	愛媛県 土木部 河川課★	144	波止浜興産株式会社★	226	野村建設株式会社 松山支店
59	愛媛県 土木部 河川課	145	八水建設株式会社	227	株式会社愛媛FC★
60	愛媛県 土木部 砂防課★	146	花音・花活プロジェクトえひめ★	228	三木特種製紙株式会社
61	愛媛県 土木部 海路建設課	147	藤原建設株式会社★	229	株式会社かどや★
62	愛媛県 土木部 海路維持課	148	丸福運送(株)	230	ジャスティン株式会社★
63	愛媛県 保健福祉部 業務衛生課★	149	ヤマキ株式会社	231	株式会社S.T.M.★
65	愛媛県立医療技術大学	150	株式会社 ユタカ★	232	金融リテラシー向上コンソーシアム★
66	愛媛県立新居浜病院★	151	株式会社 レイテ企画	233	一般社団法人 坊っちゃん劇場
67	愛媛県立南宇和病院	152	株式会社ハラブックス★	234	四国竹材建設工業株式会社★
68	愛媛県歴史文化博物館★	153	愛媛県生涯学習センター★	235	正和ガス株式会社
69	株式会社愛媛CATV★	154	風とつばさ社社主事務所	236	西匠工株式会社★
70	一般社団法人えひめ若年人材育成推進機構	155	株式会社 マツダ★	237	株式会社大石工作所★
71	愛媛信用金庫★	156	日本証券業協会★		
72	愛媛労働局	157	愛媛トヨタ自動車株式会社★		
73	株式会社 大島製作所★	158	株式会社スイッチカンパニー★		
74	株式会社 オズメッセ	159	有限会社バクハウス阿部★		
75	昭和通商株式会社★	160	株式会社 PENTA FARM★		
76	NPO法人 繁栄推進の会えひめ★	161	愛媛県農林水産研究所		
77	株式会社 クリエイト伊予	162	愛媛県農林研究所		
79	株式会社 コスにじゅういち★	163	大高無記公務員専門学校 愛媛校★		
80	特定非営利活動法人 さなえ★	164	城北運送株式会社★		
81	四国ガス株式会社★	165	公益財団法人 松山観光コンベンション協会		
82	四国通商株式会社	166	学校法人愛媛学園 愛媛調理製菓専門学校★		
83	四国電力株式会社 愛媛支店	167	華彩フラワーカレッジ・ロイヤルフローリスト華彩★		
84	ジブラルタ生命保険(株)★	168	リコージャパン株式会社 愛媛支店		
85	新日本建設 株式会社★	169	公益財団法人 愛媛県診療放射線技師会		
86	株式会社新風会フィットネスクラブRuou★	170	松山デザイナー専門学校		

※愛媛県教育委員会のホームページには226の企業・団体等をデータベース化して掲載中！(欠番8、14、35、51、64、78、94、102、109、131、171)アドレス(<https://ehime-c-esnet.ed.jp/shougai/gakusapota2/gakusapota/gakusapota.html>)にアクセス、または検索して、企業・団体等の専門性を子どもたちの学びに結びつけてください。

【問合せ先】〒790-8570 松山市一番町4丁目2-2 愛媛県教育委員会事務局 社会教育課 社会教育グループ 電話：089-912-2933 E-mail：shakaikyo@pref.ehime.lg.jp

えひめ学校・地域教育サポーター

学校及び地域における教育活動で活用しませんか？

未来を担う子どもたちの健やかな成長は、社会全体の願いです。子どもたちが将来、社会的・職業的に自立し、自分らしい生き方を実現するために必要な力を社会総がかりで育てていこうと、「えひめ学校・地域教育サポーター」には、県内の多くの企業・団体等に登録していただいています。出前授業や会社見学などとおして、子どもたちに働く大人の姿に触れさせ、多様な体験活動の充実を図り、愛媛の子どもたちに社会を生き抜く力を身に付けさせましょう！

企業・団体等



教育支援活動

学校・公民館等



【教育支援の例】

たとえば、出前授業では！

- ・銀行による金融教室や振り込み詐欺対策教室
- ・サービス業によるマナー教室
- ・情報通信業によるTV番組制作の体験学習
- ・医療福祉法人による介護体験学習
- ・県歴史文化博物館による村上水軍の歴史教室 等

たとえば、会社見学では！

- ・工場部品製造業の製造ライン見学
- ・食品業の工場見学と解説
- ・会社の環境に配慮した施設・システムの見学

※その他さまざまな支援があります。

制度開始以来、県内の小中高等学校等170校・8,762人の児童生徒が制度を活用！

児童生徒の感想文や教職員からの報告書には、当制度が子どもたちの高い学びにつながっていると実感できる内容が多く書かれています。

学習を通じて、正しい知識が人を強くすることや、一人で悩まず相談することが大切であると気付いた。(高2男子)

普段、中々お会いできない業種の方に質問でき、進路を考えていく上で、多くの学びを得ることが出来た。(中2女子)

災害が起きたとき、子どもはどうしたらいいのかと悩んでいたけれど、まず、自分の命を自分で守ることが大切だと気付いた。(小6女子)

生活設計において、高等学校卒業後必要となる費用や運転免許、自身の目標について具体的な金額をまじえながら説明していただき、生徒達も興味深く学ぶことができた。(高等学校教諭)

体験後の家庭科学習で、買い物時に、「その品物は本当に価値があるのか」「無駄遣いや環境破壊につながるかをよく考えて買う」という意見が多く聞かれた。(小学校教諭)

教育支援依頼から完了までの流れ

1

「えひめ学校・地域教育サポーター」ホームページにアクセスして、必要な教育支援を検討

2

支援を依頼する企業・団体等の担当者に連絡し、支援内容や日程等について相談・調整

3

教育支援活動実施後、「実施報告」を県社会教育課のホームページより、専用フォームにて回答。



専用フォーム二次元コード

教育支援活動
出前授業
会社見学
資料提供
など



愛媛県イメージアップキャラクター
「みきゃん」

問い合わせ先・送付先

〒790-8570 松山市一番町4丁目4-2 愛媛県教育委員会 社会教育課社会教育グループ

電話(直通) 089-912-2933 FAX089-912-2929 E-mail shakaikyo@pref.ehime.lg.jp

令和6年度 協働で支えるヤングボランティア推進事業の概要

1 趣旨

社会的奉仕体験活動や自然体験活動を通じた青少年の健全育成を行うため、高校や地域でボランティア活動を実施しているNPO法人やボランティアセンター等とネットワークを構築し、高校生等の自主的なボランティア活動を支援する。

《経緯》

平成19年度より「ヤングボランティア支援事業」として、県美術館南館に設置したヤングボランティアセンター(以下、「ヤンボラセンター」と言う。)を核として事業開始。

平成22年度から、事業名称を「協働で支えるヤングボランティア推進事業」と改称し、関係団体等とのネットワーク化をさらに強化し、既存事業の継続化を図るとともに、より強固な支援体制を構築。

令和6年度からは、ヤンボラセンター設置場所を愛媛県男女共同参画センターへ移し、同センター等との連携により、活動内容の拡充を図る。

※ 従来の設置場所については、「えひめアートプロジェクト推進事業」関連スペースとして活用するため、観光スポーツ文化部からの移転要請があり、移転先を「男女共同参画センター」とすることで関係課等と協議済み。(賃料不要)

2 事業の概要

(1) ヤングボランティア運営事業(510千円)

高校生等のボランティアスタッフが自主的に事業を実施するための支援拠点(ヤンボラセンター)の設置運営。(設置場所:愛媛県男女共同参画センター)

(2) ヤンボラスタッフの交流・実践の推進(274千円)

高校生同士、地域の団体と高校生の交流活動を通して、情報・知識・技能を身に付け、地域活動参加への意欲を高めるために、児童館等でのふれあい協働活動をもとにした研修会・実践・報告会を実施する。

【実施場所及び回数:各地域児童館等、年間15回程度】

(3) ヤンボラネットワーク事業の実施(25千円)

① 高校生ボランティアネットワークの推進

○ 地域や民間団体等で実施している高校生のニーズに対応したボランティア活動の情報を高校生等に提供する。

○ 実践活動として、主に次のような活動を行う。

・読み聞かせボランティア ・愛媛FC「柑太パーク」ボランティア など

② モデル事業の実施

○ 高校生等が身近な地域に貢献できる事業を実施し、ホームページの掲載や広報紙によって、事業内容を高校や地域に示す。

○ 事業に参加する高校生等に対して、その基礎的な知識・技能・マナーなどの修得を図る講座を実施する。

(4) ヤンボラ支援スタッフの活動に係る経費(25千円)

高校生等のボランティア活動を現地でサポートするスタッフ1名の旅費

3 その他(経費)

移転に係る引越し車両借上げ、ケーブル配線工事等の経費を計上するとともに、活動内容拡充に伴い諸経費を増額。

ヤングボランティア支援事業（H19～H21）

専門的な支援

高校との確かな連携

活動の継続と情報の共有

活動内容の充実・広範化

協働で支えるヤングボランティア推進事業（H22～）

NPO 法人 えひめ子どもチャレンジ支援機構

高等学校

協働

ヤングボランティアセンター

（愛媛県美術館南館）

担当者（社会教育課職員）
ヤンボラ支援スタッフ

活動への理解・協力
情報の収集・提供

ヤンボラ支援グループ

支援

相談

ヤンボラスタッフ
（登録した高校生）

市町ボランティア
センター

NPO

社会福祉
協議会

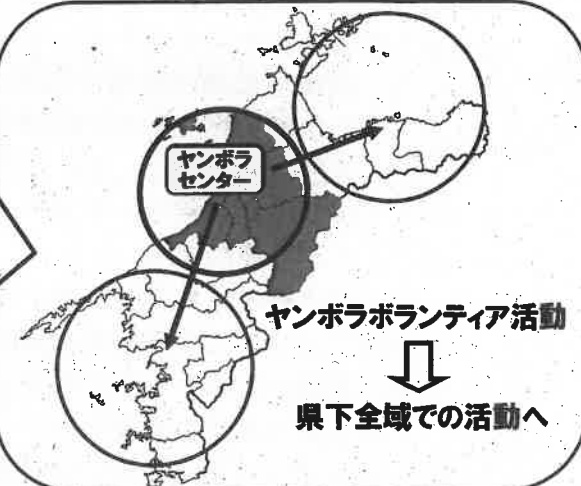
社会教育
関係団体

- ネットワークの推進
- モデル事業の実施

連携・協力

高校生が参画できる
環境の整備

- ネットワーク化
- 地域により密着した活動の展開
- 高校生同士、地域の団体と高校生の交流 等



- スタッフ登録数・学校数の増加
- モデル事業の開発（福音公園づくりボランティア）

- 東予地区、南予地区への活動の広がり
- 児童館ふれあい協働活動の実施

令和5年度ヤングボランティアスタッフ登録状況

令和6年3月

番号	校名	R5登録数	R4登録数	R3登録数	R2登録数
1	川之江高校	2	0	0	0
2	三島高校	0	0	0	8
3	新居浜東高校	0	13	2	0
4	新居浜南高校	0	0	3	0
5	新居浜工業高校	0	0	0	3
6	西条高校	87	53	8	20
7	西条農業高校	0	0	0	6
8	小松高校	0	0	17	0
9	丹原高校	1	10	2	4
10	今治西高校	0	5	0	0
11	今治北高校	68	65	80	93
12	今治北高校大三島分校	0	0	0	2
13	今治南高校	0	9	0	0
14	今治東中等教育学校	0	1	27	0
15	今治明德高校	1	0	0	0
16	今治明德高校矢田分校	3	15	3	11
17	今治精華高校	0	0	0	3
小計…①		162	171	142	150

番号	校名	R5登録数	R4登録数	R3登録数	R2登録数
1	北条高校	10	0	0	3
2	松山東高校	0	0	8	8
3	松山南高校	0	14	8	4
4	松山北高校	87	175	218	79
5	松山中央高校	201	194	109	2
6	松山商業高校	93	107	148	86
7	松山工業高校	5	1	0	0
8	東温高校	2	0	0	5
9	上浮穴高校	4	6	0	0
10	伊予農業高校	63	84	35	51
11	伊予高校	0	2	186	162
12	松山西中教校	100	62	68	49
13	済美高校	138	25	22	20
14	聖カタリナ学園高校	13	28	26	17
15	松山東雲高校	4	0	30	4
16	新田高校	0	1	0	0
17	愛光高校	1	5	0	0
18	松山聖陵高校	9	0	29	7
19	未来高校	2	8	9	0
20	済美平成中教校	26	17	42	26
21	新田青雲中教校	0	0	0	1
22	河原高等専修	0	0	2	2
23	愛媛大学附属高校	64	0	83	23
小計…②		822	729	1023	549

番号	校名	R5登録数	R4登録数	R3登録数	R2登録数
1	大洲高校	90	51	97	13
2	長浜高校	0	0	4	6
3	八幡浜高校	86	37	0	0
4	内子小田分校	0	0	7	0
5	川之石高校	19	0	8	0
6	宇和島東高校	0	0	29	37
7	吉田高校	0	0	0	1
8	宇和島南中教校	7	8	24	16
小計…③		202	96	169	73

番号	校名	R5登録数	R4登録数	R3登録数	R2登録数
その他	大学・短大・専門学校生・フリースクール	0	6	0	0
小計…④		0	6	0	0

合計(①+②+③+④)	1186	1002	1334	772
-------------	------	------	------	-----

